

運転行動データに基づくテレマティクスサービスの 提供に向けた実証実験を開始

～EUで義務化された自動緊急通報サービス（自動eCall）対応IoTデバイスを活用～

SBI損害保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：島津 勇一）とSB C&S株式会社（旧社名：ソフトバンク コマース&サービス株式会社、本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：溝口 泰雄）は、SBIグループの関係者を対象に、自動緊急通報サービス（自動eCall）*対応デバイスより収集する運転行動データを分析し、ドライバーの安全なカーライフをサポートする各種テレマティクスサービスの提供に向けた実証実験を、2019年2月から実施します。

SB C&S株式会社が提供する今回の実験環境では、ボッシュ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：クラウド・メーダー）が販売する自動緊急通報サービス（自動eCall）対応のデバイス「テレマティクスeCall プラグ」と、ソフトバンク・テクノロジー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 CEO：阿多 親市）が提供するIoT活用に必要なサービスをつなげるプラットフォームサービス「IoT Core Connect（アイオーティーコアコネクト）」を採用しました。



ポッシュ株式会社の「テレマティクス eCall プラグ」は、3軸の加速度センサーにより、ブレーキ、加減速、ハンドル操作といった運転行動データに加え、衝突事故を検知することができます。

ソフトバンク・テクノロジー株式会社の「IoT Core Connect」は、デバイスから送られるデータの収集・蓄積から分析まで行うことが可能です。

今回の実証実験の結果をもとに、SBI損害保険株式会社は、収集したデータを解析し、テレマティクス保険などドライバーの安全と利便性を向上させる革新的なサービスの開発を検討します。SB C&S 株式会社は、データを活用したテレマティクスサービスの開発と国内企業への納入を推進します。

*車両衝突事故が起きた際、緊急通報用電話番号へ自動通報を可能にするサービスです。欧州連合 (EU) 域内においては 2018 年 3 月 31 日から全ての新車への装備が義務化されています。

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
 - その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名などは、各社の登録商標または商標です。
 - プレスリリースに掲載されている内容、サービス／製品の仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。また、プレスリリースにおける計画、目標などはさまざまなリスクおよび不確実な事実により、実際の結果が予測と異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。
-